

沖縄で立体
駐車場が竣工

JFEシボル

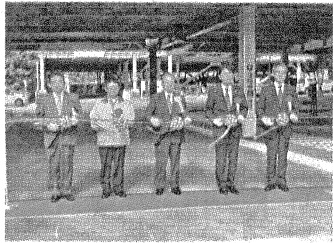
JFEシボル(社長・藤井善英氏)が沖縄県の沖縄産業振興センターから受注した立体

駐車場の竣工した写真。2層3段の鉄骨造で収容可能台数は302台となっている。同県初の「ロングスパン構造」を採用し、中間柱のない広い空間を実現。また、外壁はさびの心配がない押出成型セメント板とするなど自然環境の厳しい沖縄に合わせる。同社は沖縄・那覇空港の新立体駐車場の建設工事も受注しており、同県内での存在感を高めている。

また、沖縄では倉敷環境のごみ選別施設建設工事で県内初となる「いちいち基礎工法」を適用。基礎杭と柱を一体化させ基礎梁を省略する工法で、従来工法に比べ基礎・鉄骨工事費、掘削土量を抑制し工期も短縮できる。同社のシステム建築事業において短工期の切り札として強力な武器となっており、適用案件は急激に増加している。

JVで受注したのは同社が車場で延べ床面積5040・3平方メートル、建築面積2667・3平方メートル。デッキには高耐食性デッキを採用したほ

竣工したのは同社がJVで受注した立体駐車場で延べ床面積5040・3平方メートル、建築面積2667・3平方メートル。デッキには高耐食性デッキを採用したほ



竣工した立体駐車場(左)と、竣工式でのテープカット(右端が森田常務)